

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-58 :2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-58 部：業務用食器洗浄機の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第 二 条 第 1 項	安全原則	電気用品は、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないよう設計されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 4	箇条 4 一般要求事項（JIS C 9335-1（以下、第 1 部）の規定による。） 機器は、通常使用時に起こりやすい不注意があっても、人体及び／又は周囲に危害をもたらさないように安全に機能する構造でなければならない。	
第 二 条 第 2 項	安全原則	電気用品は、当該電気用品の安全性を確保するために、形状が正しく設計され、組立てが良好で、かつ、動作が円滑であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 22 22.104 22.109 箇条 25 25.1 25.3	第 1 部の第二条第 2 項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 22 構造 22.104 可搬形機器は、小さな物体が侵入して充電部に接触するような底面の開口部があってはならない。 22.109 同時通電される電熱素子及びモータの数を制限するプログラマブル電子回路によって制御される機器の場合には、電熱素子及びモータの全ての組合せにおける同時駆動が、機器を不安全な状態にしてはならない。 箇条 25 電源接続及び外部可とうコード 25.1 機器は、機器用インレットを備えてはならない。 25.3 固定形機器及びローラ若しくはキャスタ又はこれらと類似の手段を備えていない 40 kg を超える質量をもつ機器は、機器を設置した後に、電源コードが接続できる構造でなければならない。	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-58 :2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-58 部：業務用食器洗浄機の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第 三 条 第 1 項	安全機能を有する設計等	電気用品は、前条の原則を踏まえ、危険な状態の発生を防止するとともに、発生時における被害を軽減する安全機能を有するよう設計されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19 19.101  箇条 20 20.105  箇条 22 22.101	第 1 部の第三条第 1 項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 19 異常運転 19.101 プログラマ又はタイマをもつ機器は、不適切な操作、又はプログラマ、タイマなどの制御装置若しくはこれらを組み込む装置の故障が発生した場合でも、火災、傷害又は感電の危険を、できるだけ未然に防止できる構造でなければならない。 箇条 20 安定性及び機械的危険 20.105 ドア又は蓋が閉じた状態に限り運転が可能になるように、ドア及び蓋にはインタロックを備えなければならない。 箇条 22 構造 22.101 発熱体用保護装置及び不意な動作が危険なモータ保護装置は、三相の場合は全極を、単相の場合は少なくとも 1 極以上を遮断する、非自己復帰形のトリップフリーのものでなければならない。	
第 三 条 第 2 項	安全機能を有する設計等	電気用品は、前項の規定による措置のみによってはその安全性の確保が困難であると認められるときは、当該電気用品の安全性を確保するために必要な情報及び使用上の注意	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 7 7.12.1	第 1 部の第三条第 2 項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 7 表示、及び取扱説明又は据付説明 7.12.1 設置するときに特別な注意が必要な場合には、その	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-58 :2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-58 部：業務用食器洗浄機の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第三条 第2項続 き		について、当該電気用品又はこれに付属する取扱説明書等への表示又は記載がされるものとする。		7.12.4	詳細を記載した据付説明書を機器に添付しなければならない。 7.12.4 複数の機器用の独立した制御パネルをもつ埋込形機器の取扱説明書には、可能性がある危険を避けるために制御パネルには指定する機器だけを接続する旨を記載しなければならない。	
				7.101	7.101 手又は手動の水栓で給水する機器は、指示レベルを表示しなければならない。	
				7.102	7.102 等電位ボンディング端子には、IEC 60417 の記号 5021 を表示しなければならない。	
				構造 22	箇条 22 構造	
				22.102	22.102 危険、警告又は類似の状況を示すための、照明、スイッチ又は押しボタンの色は、赤でなければならない。	
				箇条 25	箇条 25 電源接続及び外部可とうコード	
				25.3	25.3 取扱説明書及び据付説明書には、電源コードの詳細を記載しなければならない。	
第四条	供用期間中における安全機能の維持	電気用品は、当該電気用品に通常想定される供用期間中、安全機能が維持される構造であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 23 23.3	第 1 部の第四条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 23 内部配線 23.3 自動温度調節器のキャピラリチューブが、通常使用時に屈曲を受ける可能性がある場合には、屈曲試験に耐えなければならない。	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-58 :2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-58 部：業務用食器洗浄機の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第五条	使用者及び使用場所を考慮した安全設計	電気用品は、想定される使用者及び使用される場所を考慮し、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 6 6.1 6.2	第 1 部の第五条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 6 分類 6.1 機器は、感電に対する保護に関し、クラス 0I 又はクラス I でなければならない。 6.2 機器の水に対する保護等級は、IPX1 以上でなければならない。	
第六条	耐熱性等を有する部品及び材料の使用	電気用品には、当該電気用品に通常想定される使用環境に応じた適切な耐熱性、絶縁性等を有する部品及び材料が使用されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 25 25.7 箇条 29 29.2 附属書 BB	第 1 部の第六条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 25 電源接続及び外部可とうコード 25.7 電源コードは、オーディナリークロロプレン又はその他の合成エラストマーシース付きコードと同等以上の特性をもつ耐油性の可とう被覆ケーブルでなければならない。 箇条 29 空間距離、沿面距離及び固体絶縁 29.2 汚染にさらされる可能性がある場合には、絶縁物の比較トラッキング指数 (CTI) は 250 以上でなければならない。 附属書 BB エラストマ製部品の老化試験 試験片は、洗剤溶液及びすすぎ剤溶液に浸せきさせた結果、質量増加は 110% を超えてはならない。 試験片の硬さの変化は、8 IRHD を超えてはならない。 試験片の表面は、粘着性をもってはならない。さらに、裸	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-58 :2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-58 部：業務用食器洗浄機の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
					眼で見える割れ、その他の劣化があってはならない。	
第七 条 第1号	感電に対する保護	電気用品には、使用場所の状況及び電圧に応じ、感電のおそれがないように、次に掲げる措置が講じられるものとする。 一 危険な充電部への人の接触を防ぐとともに、必要に応じて、接近に対しても適切に保護すること。	■該当 □非該当	箇条 22 22.104	第1部の第七條第1号に該当する規定によるほか、次による。 箇条 22 構造 22.104 可搬形機器は、小さな物体が侵入して充電部に接触するような底面の開口部があってはならない。	
第七 条 第2号	感電に対する保護	二 接触電流は、人体に影響を及ぼさないように抑制されていること。	■該当 □非該当	箇条 27 27.2	第1部の第七條第2号に該当する規定によるほか、次による。 箇条 27 接地接続 27.2 据置形機器で、外部の等電位導体を接続するための端子を備えている場合には、その端子は、機器の全ての固定した露出金属部分と、有効な電氣的接触をしていなければならない。	
第八 条	絶縁性能の保持	電気用品は、通常の使用状態において受けるおそれがある内外からの作用を考慮し、かつ、使用場所の状況に応じ、絶縁性能が保たれるものとする。	■該当 □非該当	箇条 15 15.2 15.101	第1部の第八條に該当する規定によるほか、次による。 箇条 15 耐湿性等 15.2 機器は、通常使用時にこぼれた液体によって電気絶縁に悪影響を及ぼさない構造でなければならない。 15.101 水の充填又は清掃のために水栓を備えている機器は、水栓からの水が充電部に接触しない構造でなければならない。機器は、試験にて水栓を全開した後、耐電圧試験	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-58 :2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-58 部：業務用食器洗浄機の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第八条 続き				箇条 19 19.101  箇条 22 22.6	に耐えなければならない。 箇条 19 異常運転 19.101 プログラマ又はタイマをもつ機器は、異常運転でも巻線温度は規定の値を越えてはならない。 箇条 22 構造 22.6 巻線又は絶縁に沿面距離が規定未満に減少するような、すすぎ剤の堆積又は液体の痕跡があつてはならない。	
第九条	火災の危険源からの保護	電気用品には、発火によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、発火する温度に達しない構造の採用、難燃性の部品及び材料の使用その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19 19.101  箇条 22 22.106  22.107  箇条 30 30.2.1	第 1 部の第九条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 19 異常運転 19.101 プログラマ又はタイマをもつ機器は、異常運転でも炎が機器から漏れてはならない。 箇条 22 構造 22.106 機器は、乾燥期間中に水に覆われていない電熱素子に接触している洗浄中の物品によって、火災の危険を生じない構造でなければならない 22.107 機器は、電熱素子、電熱素子の支持部分又は機器の中で用いる全ての容器が変形した結果として、電熱素子が機器の内側又は容器に用いる可燃性材料に触れるおそれがない構造でなければならない。 箇条 30 耐熱性及び耐火性 30.2.1 非金属材料の部分は、650℃のグローワイヤ試験に	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-58 :2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-58 部：業務用食器洗浄機の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
					耐えなければならない。	
第十条	火傷の防止	電気用品には、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼすおそれがある温度とならないこと、発熱部が容易に露出しないこと等の火傷を防止するための設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	19.101	第 1 部の第十条に該当する規定によるほか、次による。 19.101 プログラマ又はタイマをもつ機器は、異常運転でも溶融金属が機器から漏れてはならない。	
第十一 条第 1 項	機械的危険源による危害の防止	電気用品には、それ自身が有する不安定性による転倒、可動部又は鋭利な角への接触等によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、適切な設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 20 20.101  20.102  20.103  20.104	第 1 部の第十一条第 1 項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 20 安定性及び機械的危険 20.101 機器は、ドア及び蓋を閉じた状態で、機器の最上部の縁に対して、最も不利となる方向に 340 N の力を加え、機器は、転倒してはならない。 20.102 開けた状態のドアの中心、又は最も外側の位置にある負荷用の引き出しの中心のうち、いずれか不利となる場所に 23 kg の質量のおもりをつり下げ、機器が転倒してはならない。 20.103 垂直引上げドアは、人が傷害を受けないように、十分な保護をしなければならない。 20.104 通常使用時での清掃作業及び保守作業について取扱説明書に記載がある場合には、機械的な危険は、例えばキースイッチ又は工具の使用によって防止しなければな	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-58 :2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-58 部：業務用食器洗浄機の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
					らない。	
第十一 条第2項	機械的危険源による危害の防止	2 電気用品には、通常起こり得る外部からの機械的作用によって生じる危険源によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、必要な強度を持つ設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 21 21.101  箇条 22 22.105	第1部の第十一条第2項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 21 機械的強度 21.101 洗浄する物品を支持する棚及びラックは、十分な機械的強度をもち、通常使用時に変形してはならない。 箇条 22 構造 22.105 機器は、通常使用時に受ける可能性がある水圧に耐えなければならない。	
第十二 条	化学的危険源による危害又は損傷の防止	電気用品は、当該電気用品に含まれる化学物質が流出し、又は溶出することにより、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19  22.22  22.23  22.41  箇条 32	箇条 19 異常運転（第1部の規定による。） 異常運転試験において、危険な量の有毒性のガスが機器から漏れてはならない。 22.22 機器は、アスベストを含んではならない。（第1部の規定による。） 22.23 機器には、PCB を含んだ油を用いてはならない。（第1部の規定による。） 22.41 機器は、ランプを除き、水銀を含む部品を組み込んではならない。（第1部の規定による。） 箇条 32 放射線、毒性その他これに類する危険性（第1部の規定による。）	



## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-58 :2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-58 部：業務用食器洗浄機の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十三条	電気用品から発せられる電磁波による危害の防止	電気用品は、人体に危害を及ぼすおそれのある電磁波が、外部に発生しないように措置されているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 32	箇条 32 放射線、毒性その他これに類する危険性（第 1 部の規定による。）	
第十四条	使用方法を考慮した安全設計	電気用品は、当該電気用品に通常想定される無監視状態での運転においても、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	19.7  19.9  22.40  22.49  22.50  22.51	19.7 人がついていない状態で運転する機器は、拘束試験において、巻線の温度が表 8 に規定する値を超えてはならない。（第 1 部の規定による。）  19.9 遠隔制御若しくは自動制御によって運転するモータをもつ機器、又は連続運転を行う可能性がある機器には、過負荷運転試験において、巻線の温度が規定の値を超えてはならない。（第 1 部の規定による。）  22.40 遠隔操作の機器には、機器の動作を停止させるためのスイッチを取り付けなければならない。（第 1 部の規定による。）  22.49 遠隔操作の場合、運転持続時間を設定しない限り、機器が始動できないようにしなければならない。（第 1 部の規定による。）  22.50 機器内に組み込んだ制御装置がある場合、それが遠隔操作によって操作される制御装置よりも優先されなければならない。（第 1 部の規定による。）  22.51 機器上には、機器が遠隔操作に調節されているこ	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-58 :2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-58 部：業務用食器洗浄機の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十四条 続き				30.2.3	とを示す視覚的表示がなければならない。(第 1 部の規定による。) 30.2.3 遠隔操作の機器及び人の注意が行き届かない状態で動作する機器については、非金属材料に燃焼試験を行わなければならない。(第 1 部の規定による。)	
第十五条第 1 項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、不意な始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 20 20.106	第 1 部の第十五条第 1 項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 20 安定性及び機械的危険 20.106 コンベア式食器洗浄機は、ドア又は蓋を閉じた後に、自動的に始動できてはならない。	
第十五条第 2 項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、動作が中断し、又は停止したときは、再始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 22 22.101  22.108	第 1 部の第十五条第 2 項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 22 構造 22.101 発熱体用保護装置及び不意な動作が危険なモータ保護装置は、三相の場合は全極を、単相の場合は少なくとも 1 極以上を遮断する、非自己復帰形のトリップフリーのものでなければならない。 22.108 機器は、再始動によって機械的な危険、高温部分又は高温の液体による温度的危険などの危険を招く場合には、一時的に遮断した後に電源を再接続するときに、自動的に再始動してはならない。	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-58 :2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-58 部：業務用食器洗浄機の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十五条第3項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、不意な動作の停止によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 9 9.101	第1部の第十五条第3項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 9 モータ駆動機器の始動 9.101 冷却ファンのモータは、使用時に発生する可能性がある全ての電圧状態の下で始動できなければならない。	
第十六条	保護協調及び組合せ	電気用品は、当該電気用品を接続する配電系統や組み合わせる他の電気用品を考慮し、異常な電流に対する安全装置が確実に作動するよう安全装置の作動特性を設定するとともに、安全装置が作動するまでの間、回路が異常な電流に耐えることができるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 10 箇条 19 25.8	箇条 10 入力及び電流（第1部の規定による。） 機器に定格入力（定格電流）が表示されている場合、通常動作温度における入力（電流）は、許容値を超える差があってはならない。 箇条 19 異常運転（第1部の規定による。） 故障状態の下での機器の安全性をヒューズによって確保する場合は、適切なものを選ばなければならない。 25.8 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第一に適合したコード以外の電源コードの導体は、表 11 に規定する値以上の公称断面積をもつものでなければならない。（第1部の規定による。）	
第十七条	電磁的妨害に対する耐性	電気用品は、電氣的、磁氣的又は電磁的妨害により、安全機能に障害が生じることを防止する構造であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19	箇条 19 異常運転（第1部の規定による。） 電子的スイッチを持つ機器には、イミュニティ試験を実施する。	
第十八条	雑音の強さ	電気用品は、通常の使用状態において、放送受信及び電気通信の機能に障害を及ぼす雑	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	J55014-1 等の別規格で規定され

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-58 :2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-58 部：業務用食器洗浄機の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
		音を発生するおそれがないものとする。				ている。
第十九条	表示等（一般）	電気用品は、安全上必要な情報及び使用上の注意（家庭用品品質表示法（昭和三十七年法律第百四号）によるものを除く。）を、見やすい箇所に容易に消えない方法で表示されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 7  7.1   7.15   7.102  箇条 22 22.103	第 1 部の第十九条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 7 表示、及び取扱説明又は据付説明 7.1 モータの逆回転が危険を招く場合には、回転方向の表示は、モータ上に明瞭に視認できなければならない。 7.15 固定形機器の場合、機器を設置した後、表示が見えるように配置することが实际的でないときは、関連情報を取扱説明書に記載するか、又は機器の設置後に、機器の近傍に貼ることができる追加表示を提供しなければならない。 7.102 等電位ボンディング端子の表示は、着脱可能なねじ、座金、その他の部品の上に配置してはならない。 箇条 22 構造 22.103 手で給水する容器の満たすべき水位表示は、給水時に容易に確認できる位置になければならない。	
第二十条第 1 項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	次の各号に掲げる製品の表示は、前条の規定によるほか、当該各号に定めるところによる。 一 扇風機及び換気扇（産業用のもの又は電気乾燥機（電熱装置を有する浴室用のもの）に限り、毛髪乾燥機を除く。）の機能を兼ねる	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	長期使用製品安全表示制度については、省令で明確に規定されているため、整合規格は不要。

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-58 :2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-58 部：業務用食器洗浄機の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二十条第1項 続き		換気扇を除く。) 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間（消費生活用製品安全法（昭和四十八年法律第三十一号）第三十二条の三第一項第一号に規定する設計標準使用期間をいう。以下同じ。） (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨				
第二十条第2項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	二 電気冷房機（産業用のものを除く。）機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間 (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	同上

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-58 :2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-58 部：業務用食器洗浄機の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二十条第3項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	<p>三 電気洗濯機（産業用のもの及び乾燥装置を有するものを除く。）及び電気脱水機（電気洗濯機と一体となっているものに限り、産業用のものを除く。）機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間</p> <p>(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨</p>	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	同上
第二十条第4項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	<p>四 テレビジョン受信機（ブラウン管のものに限り、産業用のものを除く。）機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間</p> <p>(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故</p>	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	同上

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-58 :2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-58 部：業務用食器洗浄機の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
		に至るおそれがある旨				